



五反田川放水路 現場見学会

平成 30 年 1 月 26 日（金）

川崎の産業観光を支援する会 参加者 22 名

記録者 支援する会の事務局 根岸雅明

五反田川放水路見学会の記録

【概要】今回の見学会の目的は完成されたトンネル部と施工中の分流部の構造、放流部の構造、そしてこの事業の目的など現地を訪問してより身近に見て学び知り実体験することでした。

五反田川放水路の現場見学は今回で3度目になります。過去二度はシールド工法によるトンネル工事の施工状況を見学させていただきました。圧倒的な大きさのトンネルを見学し、クレーンでの資機材のトンネル内への投入、残土処理方法、マシンの運転管理など見学させていただきました。市民の方々から絶賛をいただきました。市民から次回は完成したトンネル内に一度入って歩いてみたいとの要望がありこの見学会を開催する事になりました。

とてもきれいに仕上がったトンネル内を約250mほど先まで歩いてトンネルの大きさなどを実体験させていただきました。

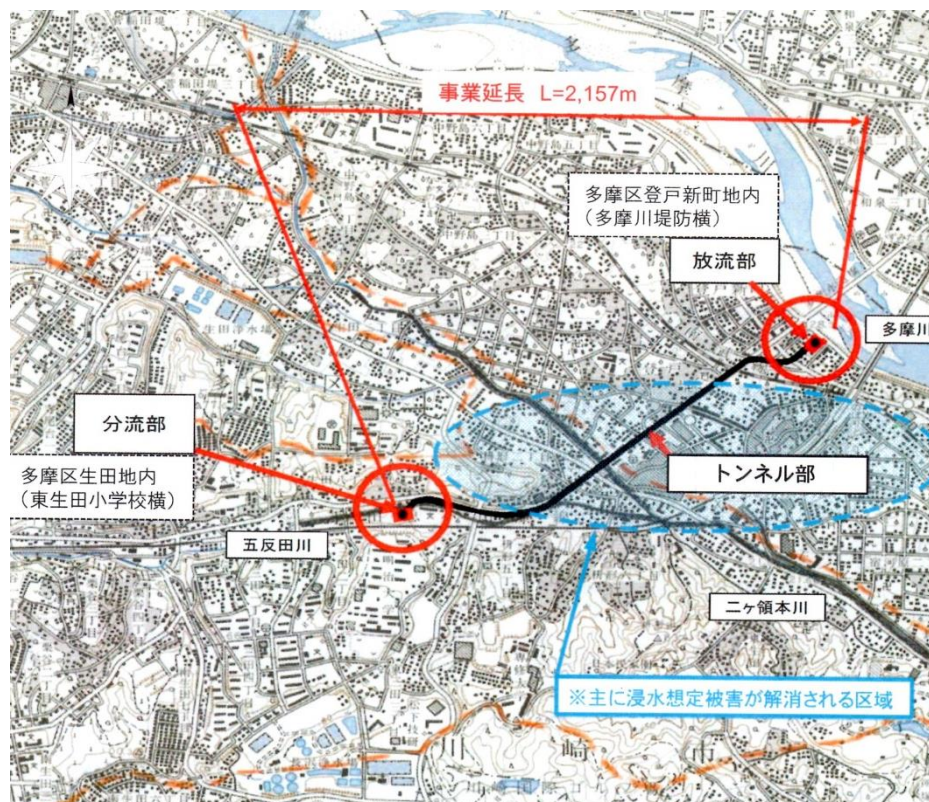
市の関係者の皆様、JVの施工会社の皆様にはお忙しい中、貴重な時間を見学会のために割いていただきお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【日時】平成30年1月26日（金）10:15～14:00

【場所】川崎市多摩区生田地内～登戸新町地内 約2,157m区間。

【参加者】22名（男性20名。女性2名）

【地図】



【感想】JR 南武線の架線事故で武蔵中原駅から川崎駅間が一時不通となり集合時間を約 30 分程送らせましたが、皆さんの知恵と工夫で駅にほぼ全員無事に集合できました。皆様には感謝です。このように事故等で遅れることも想定しなければならないなど考えさせられた見学会でした。

生田駅から現場までの道は凍り付いた雪道を転ばないように慎重に歩きました。

現場に到着後、屋外に設けられた説明場所で市の担当者の紹介と J V の施工会社の担当者の紹介がありました。

はじめに市の担当者から事業概要、事業効果、事業期間などの説明をいただきました。洪水対策としてこの工事が完成するのは平成 35 年度頃の予定だとのことでした。トンネル部は完成し、現在分流部施設の建設中でその後はゲートや機械類（ポンプ設備等）の工事に入るとのことでした。

多摩川に放流する部分の工事は国土交通省に委託をして現在放流施設を建設しており平成 31 年 3 月の完成を目指しているとの説明でした。配布された資料の説明を聞きながら学びました。

プレゼンテーションで驚いたのはキャドで描いた図面から 3 D を使ってこれからできる構造物が立体的に見えてその構造物が回転していろんな角度から見られるのに驚きました。操作は小さなパソコンのタブレット版で指で動かしているのにも驚きました。技術は進んでいるのだなと思いました。よく TV で体の構造などを写しているのと同じだなと思いました。

説明が終わりいよいよ 60m 下のトンネル内に吊り階段でおりましたが、少し揺れましたが恐怖感はありませんでした。トンネル内の下から見上げた青空が爽快だったという人もいました。皆さんスケールの大きさに驚いていたようです。

トンネル内の往復 4 キロを歩いたり走ったりしたいなというつわものの人もいました。

見学会終了後、向ヶ丘遊園駅までバスで移動し、旧津久井街道沿いの老舗の柏屋で和風ランチをいただきました。大広間で皆さんとくつろぎながらゆっくりと歓談できたのもとても良かったなと思いました。とても美味しかったとおっしゃっていただきました。お店を選んだ幹事さんには感謝です。

食事後、歩いて放流部の施設の現場まで行き建設状況を堤防の上から眺めました。おおよその全体像を確認把握できたのではないのでしょうか。疑問点や構造の詳細などは配布された資料などをお読みになって各自理解を深めていただければと思います。

皆さん熱心に市の担当者の方々に沢山の質問をされていました。それだけこの現場に関心の深かった証だったなと思いました。応募してすぐに定員に達した事は主催者側としてはとても嬉しかったことでした。寒い中沢山の参加をしていただきありがとうございました。

【写真】



屋外の説明場所で皆さん熱心にお聞きする。





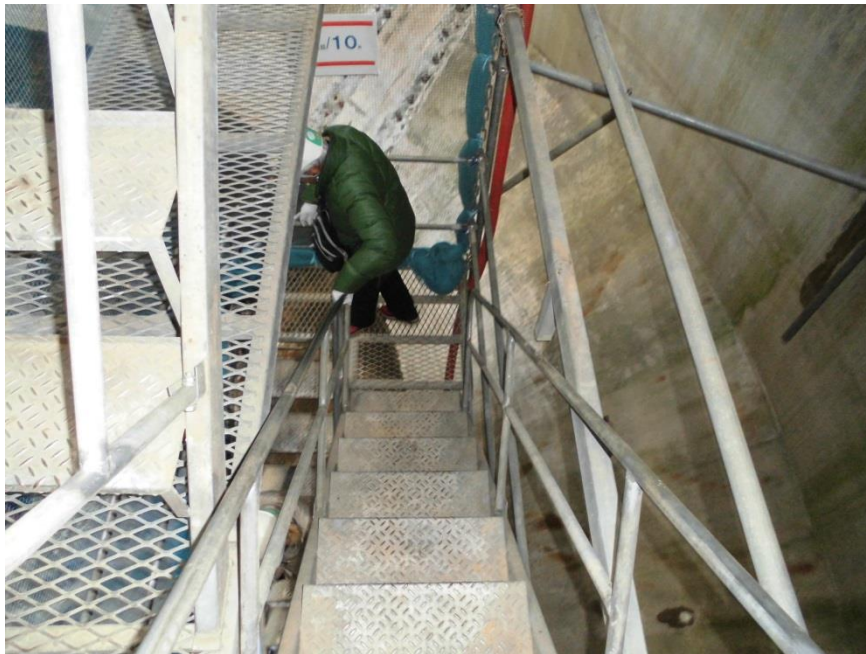
説明者がタブレット版に指で示しながら映し出された画面を説明する。キャドで描かれたものを3Dで立体的に構造物が映し出される。その構造物は自由に回転していろんな角度から構造物を確認できました。



分流部施設の鋼管矢板を施工している。



吊り階段で 60m 下まで昇降する。揺れましたが恐怖感はありませんでした。





分流部の立坑 21m。この空間は水が流れる部分と施工管理部分などに分割されるそうです。



トンネルの内径は 8.7m



トンネルの大きさに圧倒されました。



トンネル内を 250m先ほど歩き体験をしました。



トンネル内に溜まった土砂などを取り除くために水を送るためのパイプだそうです。





現場の最寄りのバス停から向ヶ丘遊園駅に向かい柏屋へ。



柏屋さんの大広間



創業時の写真やビクなど展示



和風ランチ。タラとか牡蠣などがありました。御飯は炊き込みごはんです
美味しかったです



デザート



多摩川側に建設中の放流部を堤防から眺める。



放流部の完成予想写真